

三重県立桑名工業高等学校 令和8年度PTA総会事項書

1. 開会

- (1) PTA会長挨拶
- (2) 学校長挨拶

2. 学校の近況報告

- (1) 生徒指導部
- (2) 進路指導部

3. 議事

- (1) PTA総会について

- ① 令和7年度 PTA事業報告

- 決算報告（PTA会計、特別会計、学校後援会会計）
 - 会計監査報告

- ② 令和8年度 PTA役員・理事選出

- ③ 令和8年度 PTA事業計画

- 予 算 （PTA会計、特別会計、学校後援会会計）

- (2) 理事の名称について

- (3) 今後のPTA役員会・理事会の開催形式について

- (4) その他

4. 連絡事項

- (1) 理事・本部役員の役割分担について
- (2) 学校マネジメントシート
- (3) その他

5. 閉会

- (1) PTA会長挨拶

令和8年度 PTA 総会用 生徒指導部資料

R8.5.9 生徒指導部

1. 桑名工業高等学校の問題行動の推移

桑名工業高等学校の問題行動の推移															
年度	23	24	25	26	27	28	29	30	31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
件数	10	6	6	7	2	9	3	2	5	3	7	14	13	16	13
人数	21	7	13	17	2	9	3	2	5	3	9	18	24	51	15

2. 問題行動の現状と内容

令和7年度の問題行動の内訳は、迷惑行為1件1名、不正行為3件3名、喫煙2件2名、喫煙具所持1件1名、無断免許取得2件2名、暴言・暴力3件3名、対教師暴力1件3名です。暴言・暴力行為の案件が増えてきている。日常生活の中から簡単に暴言を言う事に慣れている現状がある。また感情をコントロール出来ない部分がある。SNSを通じていじめに繋がる件があります。とても身近となっているスマホについて、使い方次第では人に迷惑をお掛けしたり、事件に発展したりと怖い部分がありますのでご家庭でもお話しして頂けたらと思います。引き続き全校集会等で意識を高めていきたいと思ひます。

3. 遅刻指導

遅刻理由の「寝坊」が多く、生活習慣を身に着ける事も社会人になるにあたり非常に大事だと考えています。早寝早起きをして、体調の自己管理と共に、ご家庭でのご指導もよろしくお願ひいたします。また、通院等はできる限り放課後の時間を利用するようにして下さい。《2025年度遅刻統計》

2025年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年生	11	15	19	14	0	43	30	35	20	55	45	16	296
2年生	28	31	33	9	0	33	27	23	23	59	45	26	338
3年生	22	26	20	7	0	33	17	31	27	44	1	0	234
合計	61	72	72	30	0	109	74	89	70	158	91	42	868

4. 「桑名工業高校三原則（挨拶、身だしなみ、きれいな学校）」について

皆が意識してきれいな学校や挨拶が出来ています。身だしなみの部分でネクタイがしっかり締められていない生徒もいるので、ご家庭でも見ていただけたらと思ひます。今年度も意識付けのために、教員が毎朝七和駅から学校までの各地点で登校指導をしています。さらに生徒指導部で生徒昇降口の挨拶運動をしながら身だしなみについても指導しています。

これからもこの三原則を意識して実践し、自己を高めてもらいたいと思ひます。そのためにもご家庭と学校が協力して共通理解をし、一体感のある指導をしていきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

5. 自転車事故

安全のためにもヘルメット着用していただき、時間にゆとりをもって運転してもらいたいと思ひます。また、自転車側が加害者となり、高額な賠償金請求も発生しています。事故が発生したときには警察に連絡をして、落ち着いたら学校に報告してください。いつ加害者になるかもしれませんので、保険に加入する必要もあるかと思ひます。

保護者の皆様へ

- 進路を決定する際は、ご家族でしっかりと相談してください。本人の意思を確認し、最終的には本人が選択できるようご配慮ください。
- 進学・就職に関して、ご要望やご不明な点がございましたら、どうぞ遠慮なく進路指導部までご連絡ください。
- 6月に『進路の手引き Dreams Come True 2026』を3年生全員に配付する予定です。必ずご一読いただきますようお願いいたします。

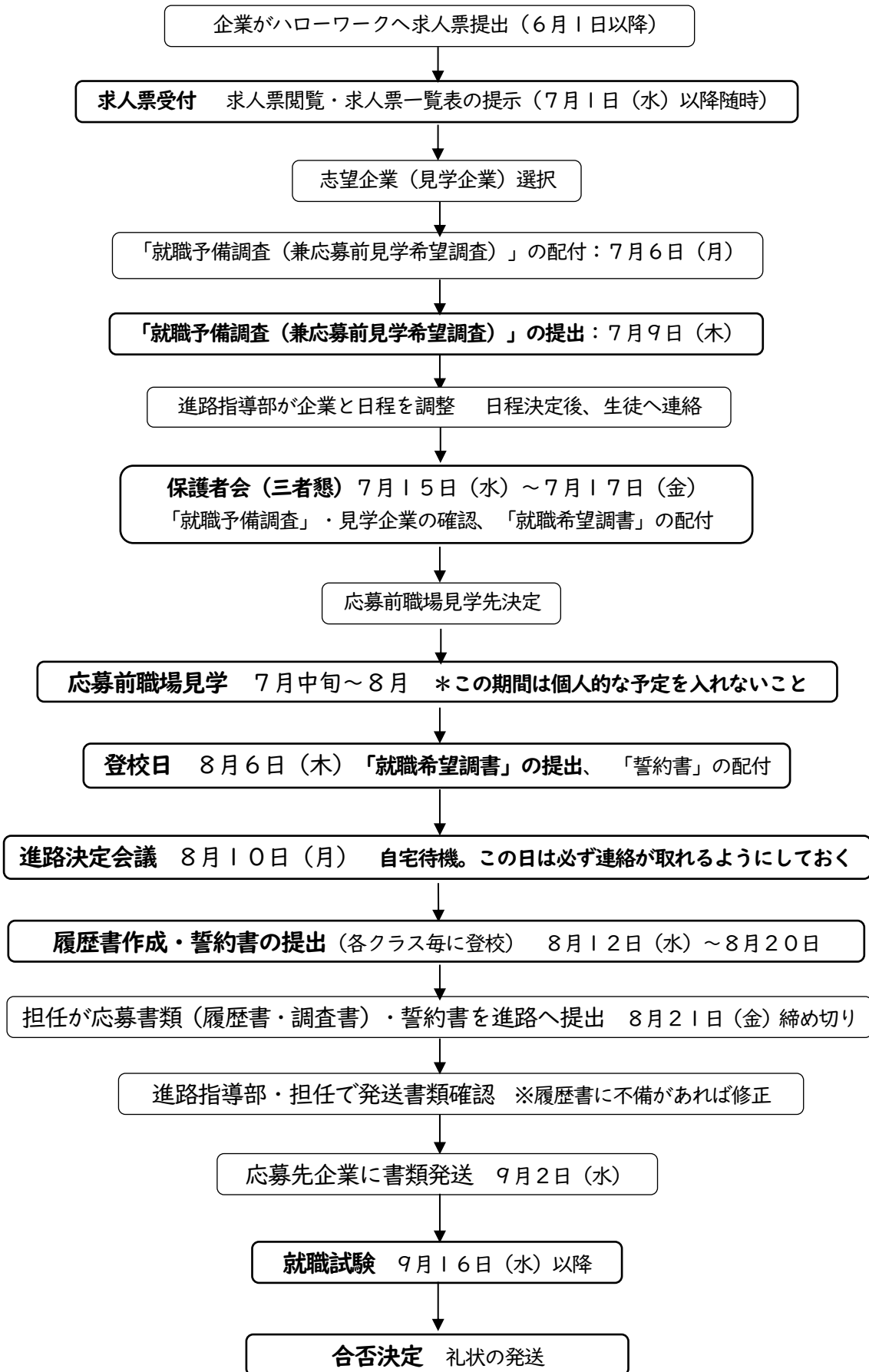
就職

- ① 企業は、決して採用のレベルは落としません。内定者数が求人数に満たなくても、求める人材でなければ不採用とします。
- ② 学校の斡旋を受けること（学校推薦）を基本としてください。
- ③ 知り合いがいる企業・アルバイト先等へ就職したい場合（これを「縁故」と言います）、求人票を学校に提出するよう会社側に伝えてください（賃金・就業時間等労働条件確認のため）。縁故のみでは、トラブルが生じる場合があります。
- ④ 学校推薦による就職希望者の中から学業成績・学校生活全体を考慮して校内進路決定会議で選考し、推薦者・応募先を決定します。
- ⑤ 応募先が求人数に満たない場合でも、校内進路決定会議においてふさわしくないと判断した生徒は推薦いたしません。
- ⑥ 推薦順位を決める重要な資料となる、定期考査や基礎力診断テストに全力を尽くさせてください。
- ⑦ 学校推薦により応募できるのは、原則1社のみです。
- ⑧ 内定後の辞退はできません。
- ⑨ 国家公務員・地方公務員（県庁・市役所・自治体外郭団体・警察・自衛隊・消防等）と一般企業の併願は認めません。就職と進学の併願もできません。

進学

- ① 進学と就職の併願は認められません。
- ② 指定校および専願の推薦入試に合格した場合、入学辞退はできません。
他校の受験もできません。
- ③ 指定校推薦で入学した場合、大学入学後の成績は、翌年度以降の指定校推薦人数に大きく影響します。入学後（入学試験合格後）も、桑名工業高校からの推薦により入学したという自覚を持って勉学に励む必要があります。
- ④ 大学進学を希望する場合、受験に向けて勉強に励むことはもちろん、授業料等の経済的負担、単位取得や進級の大変さ、進学の意味、卒業後の就職状況等をよく理解させてください。
- ⑤ 専門学校進学を希望する場合、資格取得などしっかりした目的を持たせることが肝要です。また、高額な授業料等の経済的負担、卒業後の就職状況等をよく理解させてください。授業や実習で比較的忙しいことも念頭に置く必要があります。

令和8年度 就職決定までの手順(予定)



令和7年度PTA事業報告

○入学式	4月 8日 (火)
◎第1回PTA役員会	4月25日 (金)
◎第1回PTA理事会	4月25日 (金)
◎第1回PTA「親の会」	4月25日 (金)
◎挨拶運動 (下校時)	5月10日 (土)
◎PTA総会 (桑名工業高校)	5月10日 (土)
○学校環境デー (七和小学校と合同で近隣地域の清掃作業)	6月 3日 (火)
○体育祭 (四日市ドーム)	6月 4日 (水)
□県高等学校PTA連合会総会 (伊賀)	6月 7日 (土)
○人権講話	6月13日 (金)
□東海地区高等学校PTA連合会「静岡大会」	6月27日 (金)
□北勢地区高等学校PTA研修会	6月28日 (土)
○インターンシップ巡回指導	7月 7日 (月)～11日 (金)
◎第2回PTA役員会	7月16日 (水)
◎第2回PTA理事会	7月16日 (水)
◎第2回PTA「親の会」	7月16日 (水)
□全国高等学校PTA連合会「三重県大会」	8月21日 (木)・22日 (金)
○秋の交通安全運動及び挨拶運動	9月17日 (水)～19日 (金)
◎第3回PTA役員会	9月26日 (金)
◎第3回PTA理事会	9月26日 (金)
◎挨拶運動 (下校時)	9月26日 (金)
○文化祭	10月23日 (木) 午後・24日 (金)
	※PTA 理事のみ出店
◎PTA研修会 (バス研修旅行)	11月 (または12月)
○人権講話	12月12日 (金)
◎第4回PTA役員会	12月22日 (月)
◎第4回PTA理事会	12月22日 (月)
◎第3回PTA「親の会」	12月22日 (月)
○成果発表会	1月16日 (金)
○卒業式	3月 1日 (日)
◎第5回PTA役員会	3月 3日 (火)
◎第5回PTA理事会	3月 3日 (火)

◎：本校PTAの行事

○：学校の行事

□：高校PTA連合の行事

令和7年度 桑名工業高等学校PTA会計 決算書

収入済額 6,951,511円
 支出済額 4,239,711円
 差引残額 2,711,800円

収入の部

科目	予算額(A)	収入済額(B)	増減額(B-A)	備考
会費	3,452,400	3,436,200	▲ 16,200	生徒600円×延べ5,373名、職員300円×延べ708名
入会金	765,000	765,000	0	5,000円×153名
繰越金	2,743,343	2,743,343	0	前年度繰越金
雑収入	1,807	6,968	5,161	預金利息
合計	6,962,550	6,951,511	▲ 11,039	

支出の部

科目	予算額(A)	支出済額(B)	差引残額(A-B)	備考
運営費	4,680,000	3,328,660	1,351,340	
報償費	200,000	9,000	191,000	特別表彰者記念品
給料	2,800,000	2,798,219	1,781	PTA職員給料(2名分)
職員手当	180,000	128,980	51,020	" 手当(2名分)
共済費	50,000	34,761	15,239	" 労働保険料(2名分)
旅費	1,300,000	357,700	942,300	PTA役員旅費 等
研修費	150,000	0	150,000	
需用費	880,000	255,819	624,181	
消耗品費	400,000	29,260	370,740	トナーカートリッジ
修繕費	30,000	0	30,000	
印刷製本費	200,000	192,540	7,460	学校案内、PTAだより 等
食糧費	150,000	24,019	125,981	親の会茶菓 等
慶弔費	100,000	10,000	90,000	会員慶弔
役務費	40,000	31,020	8,980	PTA職員健康診断料(2名分)
使用料賃借料	100,000	0	100,000	
備品購入費	100,000	0	100,000	
負担金補助金	500,000	105,650	394,350	各高P連会費 等
積立金	500,000	500,000	0	周年記念行事積立
予備費	162,550	18,562	143,988	切手、図書カード
合計	6,962,550	4,239,711	2,722,839	

6,951,511円 - 4,239,711円 = 2,711,800円
 (収入額) (支出額) (差引額)

2,711,800円 を令和8年度 PTA会計に繰越します。

令和7年度 PTA会計について監査したところ、適正に処理されている事を認めます。

監査執行日 令和8年4月24日

PTA監査 山本志穂
 PTA監査 西尾ひろみ
 PTA監査 葛西一希

令和7年度 PTA特別会計 決算書

収入の部

科 目	予算額(A)	収入済額(B)	増減額(B-A)	備 考
繰入金	500,000	500,000	0	PTA一般会計より繰入
繰越金	5,000,000	5,000,000	0	前年度繰越金
合 計	5,500,000	5,500,000	0	

支出の部

科 目	予算額(A)	支出済額(B)	差引残額(A-B)	備 考
事業費	5,500,000	0	5,500,000	周年記念行事積立
合 計	5,500,000	0	5,500,000	

5,500,000円 - 0円 = 5,500,000円
 (収入額) (支出額) (差引額)

5,500,000円 を令和8年度 PTA特別会計に繰越します。

令和7年度 PTA特別会計について監査したところ、適正に処理されている事を認めます。

監査執行日 令和8年4月24日

PTA監査 山本 志穂

PTA監査 西尾 ひろみ

PTA監査 菊田 一希

令和7年度 桑名工業高等学校 学校後援会会計 決算書

収入済額 22,232,302円
 支出済額 7,061,176円
 差引残額 15,171,126円

収入の部

科目	予算額(A)	収入済額(B)	増減額(B-A)	備考
会費	6,480,000	6,447,600	▲ 32,400	1,200円×延べ5,373名
補助金	200,000	400,970	200,970	高体連より東海大会出場生徒旅費補助 等
繰越金	15,357,172	15,357,172	0	前年度繰越金
雑収入	6,908	26,560	19,652	預金利息
合計	22,044,080	22,232,302	188,222	

支出の部

科目	予算額(A)	支出済額(B)	差引残額(A-B)	備考
事業費	920,000	432,708	487,292	
旅費	200,000	212,252	▲ 12,252	工業高校生フェア参加生徒旅費 等
需用費	20,000	11,810	8,190	工業高校生フェア参加生徒弁当
役務費	100,000	23,158	76,842	運転記録証明手数料 等
使用料賃借料	500,000	98,278	401,722	レンタカー代
備品購入費	10,000	0	10,000	
施設環境整備費	10,000	4,400	5,600	部室スเปアキー
修繕費	10,000	0	10,000	
負担金	70,000	82,810	▲ 12,810	大会参加費 等
行事費	9,800,000	6,327,180	3,472,820	
全国・東海大会費	4,000,000	1,349,068	2,650,932	全国・東海大会生徒旅費補助
県内公式戦費	2,000,000	1,441,378	558,622	県内公式戦生徒旅費補助
合宿練習費	1,000,000	649,810	350,190	各クラブ合宿・遠征生徒旅費補助
生徒引率旅費	2,800,000	2,886,924	▲ 86,924	クラブ生徒引率旅費
積立金	100,000	100,000	0	トレーニング機器修理引当金
予備費	11,224,080	201,288	11,022,792	生産部補助金 等
合計	22,044,080	7,061,176	14,982,904	

22,232,302円 - 7,061,176円 = 15,171,126円
 (収入額) (支出額) (差引額)

15,171,126円 を令和8年度PTA会計に繰越します。

令和7年度 学校後援会会計について監査したところ、適正に処理されている事を認めます。

監査執行日 令和 8年 4月 24日

PTA監査 山本 志穂

PTA監査 西尾ひろみ

PTA監査 菅野 希

令和7年度 トレーニング機器修理引当金 決算書

収入の部

科 目	予算額(A)	収入済額(B)	増減額(B-A)	備 考
繰入金	100,000	100,000	0	学校後援会会計より繰入
繰越金	233	233	0	前年度繰越金
雑収入	0	4	4	利息
合 計	100,233	100,237	4	

支出の部

科 目	予算額(A)	支出済額(B)	差引残額(A-B)	備 考
事業費	100,233	0	100,233	トレーニング機器修理
合 計	100,233	0	100,233	

100,237円 - 0円 = 100,237円
 (収入額) (支出額) (差引額)

100,237円 を令和8年度トレーニング機器修理引当金に繰越します。

令和7年度トレーニング機器修理引当金について監査したところ、適正に処理されている事を認めます。

監査執行日 令和 8 年 4 月 24 日

PTA監査 山本 志穂

PTA監査 西尾 ひろみ

PTA監査 菊西 一希

令和8年度 P T A理事名簿

番号	学年	組	保護者名	生徒名	出身中学
1	1	M1	上間 美幸	士紋	多度
2	1	M1	小方 美代子	海弥	明正
3	1	M1	佐藤 卓也	綾美	長島
4	1	M2	杉山 千裕	太哉	明正
5	1	M2	田中 美幸	煌	南
6	1	M2	春木 美紗	颯介	陵成
7	1	E1	一色 法江	恵佑	東員一
8	1	E1	服部 悟司	湊悟	大安
9	1	E1	吉田 阿海	大我	東員一
10	1	E1	渡部 洋子	瑛太	陵成
11	1	E2	田中 泉	晴翔	陵成
12	1	E2	平井 恵美子	悠陽	山手
13	1	E2	平野 弘子	恵夢	光陵
14	1	E2	松江 恵理	晴功	東員一
15	2	1	兵藤 幸恵	佑樹	光風
16	2	1	福島 菜緒	瑞生	明正
17	2	1	松岡 絵美	頼	川越
18	2	2	阪 佳那	拓海	光陵
19	2	2	水谷 志保	颯	明正
20	2	2	城野 美奈	空斗	員弁
21	2	2	川瀬 めぐみ	優來	員弁
22	2	3	瀬古 尚之	峻太	多度
23	2	3	西尾 ひろみ	心	東員第一
24	2	3	渡邊 久美子	湊斗	員弁
25	2	3	古村 恵利子	優伍	木曾岬
26	2	4	伊藤 奈美	信星	明正
27	2	4	山本 志穂	葉月	長島
28	2	4	尾俣 華美	暁義	光風
29	2	4	黒田 朋美	優真	正和
30	2	5	小林 由美	快斗	員弁
31	2	5	松島 恵美	秀弥	陵成
32	2	5	大月 万寿美	晟通	朝明
33	2	5	佐藤 知恵	敬頼	光陵

番号	学年	組	保護者名	生徒名	出身中学
34	3	1	伊藤 大	嵐	陽和
35	3	1	和藤 正晃	純平	陵成
36	3	1	スマラ 緑	イライジャ宝	陽和
37	3	1	長谷川 奈都子	千駿	光陵
38	3	2	清水 武士	郁人	羽津
39	3	2	杉山 千裕	裕威	明正
40	3	2	後藤 公美	浩介	明正
41	3	3	劔山 藍紀	暖翔	東員一
42	3	4	瀬木 葵	乙希	大安
43	3	4	中村 夢果子	航大	陽和
44	3	5	田米 由実	遥翔	多度
45	3	5	渡邊 理恵	大雅	正和
46	3	5	島田 優子	遼平	大安

番号		教職員名	各分掌代表
1	教員	水谷 愛	学校長
2		阿野 正憲	教頭
3		森 邦史	主幹教諭・機械科
4		前川 晶子	事務長
5		野村 和弘	総務部
6		菊池 美穂	
7		星野 智司	
8		葛西 一希	
9		萩村 年紀	生徒指導部
10		三木 正人	進路指導部
11		西山 友美	保健安全部
12		高木 英和	教務部
13		秋田 真和	キャリア探究部
14		野村 和弘	材料技術科
15		三輪 一清	電気科
16		佐野 拓郎	電子科・情報部
17		久保田 肇	普通科
18		長谷川 将規	普通科

令和8年度・PTA本部役員

役名	名前	クラス
会長	田米 由実	3-5
副会長	瀬木 葵	3-4
	中村 夢果子	3-4
	山本 志穂	2-4
書記	西尾 ひろみ	2-3
	瀬古 尚之	2-3
	菊池 美穂	教諭
会計	平野 弘子	E2
	前川 晶子	事務長
監査	吉田 阿海	E1
	松江 恵理	E2
	葛西 一希	教諭
顧問	伊藤 みどり	前会長
	水谷 愛	学校長
	阿野 正憲	教頭

令和8年度PTA事業計画

○入学式	4月 8日 (水)
◎第1回PTA役員会	4月24日 (金)
◎第1回PTA理事会	4月24日 (金)
◎第1回PTA「親の会」	4月24日 (金)
◎挨拶運動(下校時)	5月 9日 (土)
◎PTA総会(桑名工業高校)	5月 9日 (土)
○学校環境デー(七和小学校と合同で近隣地域の清掃作業)	6月 2日 (火)
○体育祭(四日市ドーム)	6月 3日 (水)
□県高等学校PTA連合会総会(津)	6月 6日 (土)
◎PTA研修会(NTN企業見学会)	6月10日 (水)
○人権講話	6月12日 (金)
□東海地区高等学校PTA連合会「愛知大会」	6月17日 (水)
□北勢地区高等学校PTA研修会	6月26日 (土)
○インターンシップ巡回指導	7月 6日(月)～10日(金)
◎第2回PTA役員会	7月15日 (水)
◎第2回PTA理事会	7月15日 (水)
◎第2回PTA「親の会」	7月15日 (水)
□全国高等学校PTA連合会「大分県大会」	8月20日(木)・21日(金)
○秋の交通安全運動及び挨拶運動	9月16日(水)～18日(金)
◎第3回PTA役員会	9月25日 (金)
◎第3回PTA理事会	9月25日 (金)
◎挨拶運動(下校時)	9月25日 (金)
○文化祭	10月22日(木)午後・23日(金)
	※PTA理事のみ出店
○人権講話	12月11日 (金)
◎第4回PTA役員会	12月21日 (月)
◎第4回PTA理事会	12月21日 (月)
◎第3回PTA「親の会」	12月21日 (月)
○成果発表会	1月15日 (金)
○卒業式	3月 1日 (月)
◎第5回PTA役員会	3月 3日 (水)
◎第5回PTA理事会	3月 3日 (水)

◎：本校PTAの行事

○：学校の行事

□：高校PTA連合の行事

令和8年度 桑名工業高等学校PTA会計 予算書

収入予算額 6,935,100 円
 支出予算額 6,935,100 円
 差引残額 0 円

収入の部

科 目	本年度予算額(A)	昨年度予算額(B)	増減額(A-B)	備 考
会費	3,506,400	3,452,400	54,000	生徒600円×459名×12月、職員300円×56名×12月
入会金	710,000	765,000	▲ 55,000	5,000円×142名
繰越金	2,711,800	2,743,343	▲ 31,543	前年度繰越金
雑収入	6,900	1,807	5,093	
合計	6,935,100	6,962,550	▲ 27,450	

支出の部

科 目	本年度予算額(A)	昨年度予算額(B)	増減額(A-B)	備 考
運営費	4,680,000	4,680,000	0	
報償費	200,000	200,000	0	卒業生懇談会謝礼等
給料	2,800,000	2,800,000	0	PTA職員給料(2名分)
職員手当	180,000	180,000	0	〃 手当(2名分)
共済費	50,000	50,000	0	〃 労働保険料(2名分)
旅費	1,300,000	1,300,000	0	全国高P連大会 等
研修費	150,000	150,000	0	PTA研修
需用費	880,000	880,000	0	
消耗品費	400,000	400,000	0	PTA消耗品
修繕費	30,000	30,000	0	PTA備品等の修繕
印刷製本費	200,000	200,000	0	PTAだより、学校案内
食糧費	150,000	150,000	0	PTA懇談会用茶菓 等
慶弔費	100,000	100,000	0	会員慶弔
役務費	40,000	40,000	0	PTA職員健康診断料
使用料賃借料	100,000	100,000	0	
備品購入費	200,000	100,000	100,000	PTA備品
負担金補助金	500,000	500,000	0	各高P連会費 等
積立金	500,000	500,000	0	周年記念行事積立
予備費	35,100	162,550	▲ 127,450	
合計	6,935,100	6,962,550	▲ 27,450	

令和8年度 桑名工業高等学校 学校後援会会計 予算書

収入予算額 22,006,800 円
 支出予算額 22,006,800 円
 差引残額 0 円

収入の部

科 目	本年度予算額(A)	昨年度予算額(B)	増減額(A-B)	備 考
会費	6,609,600	6,480,000	129,600	1,200円×459名×12月
補助金	200,000	200,000	0	高体連より
繰越金	15,171,126	15,357,172	▲ 186,046	前年度繰越金
雑収入	26,074	6,908	19,166	
合計	22,006,800	22,044,080	▲ 37,280	

支出の部

科 目	本年度予算額(A)	昨年度予算額(B)	増減額(A-B)	備 考
事業費	920,000	920,000	0	
旅費	200,000	200,000	0	各種行事参加生徒旅費
需用費	20,000	20,000	0	各種行事消耗品
役務費	100,000	100,000	0	通信運搬費等、手数料
使用料賃借料	500,000	500,000	0	応援バス等
備品購入費	10,000	10,000	0	クラブ用備品
施設環境整備費	10,000	10,000	0	クラブ施設用
修繕費	10,000	10,000	0	クラブ備品等の修繕
負担金	70,000	70,000	0	各種負担金
行事費	9,700,000	9,800,000	▲ 100,000	
全国・東海大会費	3,900,000	4,000,000	▲ 100,000	全国・東海大会出場生徒旅費補助
県内公式戦費	2,000,000	2,000,000	0	県内公式戦生徒旅費補助
合宿練習費	1,000,000	1,000,000	0	各クラブ合宿・遠征生徒旅費補助
生徒引率旅費	2,800,000	2,800,000	0	クラブ生徒引率旅費
積立金	200,000	100,000	100,000	トレーニング機器等維持管理・購入引当金
予備費	11,186,800	11,224,080	▲ 37,280	
合計	22,006,800	22,044,080	▲ 37,280	

令和8年度 PTA特別会計 予算書

収入の部

科 目	本年度予算額(A)	昨年度予算額(B)	増減額(A-B)	備 考
繰入金	500,000	500,000	0	PTA費一般会計から繰入
繰越金	5,500,000	5,000,000	500,000	前年度繰越金
合 計	6,000,000	5,500,000	500,000	

支出の部

科 目	本年度予算額(A)	昨年度予算額(B)	増減額(A-B)	備 考
事業費	6,000,000	5,500,000	500,000	周年記念行事積立
合 計	6,000,000	5,500,000	500,000	

令和8年度 トレーニング機器等修理・購入引当金 予算書

収入の部

科 目	本年度予算額(A)	昨年度予算額(B)	増減額(A-B)	備 考
繰入金	200,000	100,000	100,000	学校後援会会計より繰入
繰越金	100,237	233	100,004	前年度繰越金
合 計	300,237	100,233	200,004	

支出の部

科 目	本年度予算額(A)	昨年度予算額(B)	増減額(A-B)	備 考
事業費	300,237	100,233	200,004	トレーニング機器維持管理
合 計	300,237	100,233	200,004	

三重県立桑名工業高等学校 P T A 会則

(昭和36年5月1日制定)

(平成4年4月1日改訂)

(平成13年4月1日改訂)

(令和7年4月1日改訂)

(令和8年4月1日改訂)

- 第 1 条 本会は桑名工業高等学校 P T A と称す。
- 第 2 条 本会は本部を三重県立桑名工業高等学校に置く。
- 第 3 条 本会は保護者と教師が緊密に連絡協力し本校教育を推進し、生徒の福祉を増進することを目的とする。
- 第 4 条 本会は次の会員で組織する。
1. 正 会 員 本校生徒の保護者と教職員
 2. 特別会員 本校の目的趣旨に賛同協力するもの
- 第 5 条 本会役員は次のとおりである。
1. 会 長 1 名 (P)
 2. 副 会 長 3 名 (P)
 3. 書 記 3 名 (P 2 ・ T 1)
 4. 会 計 2 名 (P 1 ・ T 1)
 5. 監 査 3 名 (P 2 ・ T 1)
- 役員は役員学年委員会で選出し総会の承認を得ること。
任期は1ヶ年とし再任は妨げない
- 第 6 条 本会は学年委員及び顧問を置き会長が委嘱する。
- 第 7 条 役員及び学年委員、顧問の任務は下記の通りである。
1. 会長は本会を代表し、会務を総括する。
 2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはこれを代行する。
 3. 書記は本会の事務を担当する。
 4. 会計は本会の会計事務を処理する。
 5. 監査は本会の行事推進にあたる。
 6. 理事は本会の行事推進にあたる。
 7. 顧問は本会の運営に関し勧告と助言を与える。
- 第 8 条 本会は役員学年委員会を設け、必要な会務を執行する。
- 第 9 条 本会の会則は総会で会員の3分の1以上の賛成を得れば制定改正をすることができる。
- 第 10 条 総会は毎年1回開催し、会員の3分の2以上が要求する場合、又会長が必要と認めた時、臨時総会を開くことができる。
- 第 11 条 総会は会員の3分の2以上で成立する。
- 第 12 条 本会の経費は、会費、入会金、事業収入、寄附金をもってこれにあてる。
- 第 13 条 本会は平成10年4月1日から実地する。

付則 (平成5年4月1日)

会費は、毎月1,800円から毎月1,600円に改定する。

付則 （平成10年4月1日）

入会金を、5,000円とする。

付則 （平成13年4月1日）

会費は、毎月600円に改定する。

付則 （令和8年4月1日）

理事の名称を学年委員に改定する。

役員会・理事会の名称を役員学年委員会に改定する。

三重県立桑名工業高等学校学校後援会規約

平成9年4月1日制定
平成10年4月1日一部改定
平成13年4月1日一部改定
令和2年4月1日一部改訂
令和5年4月1日一部改訂
令和8年4月1日一部改訂

(名称・事務所)

第1条 本会は三重県立桑名工業高等学校学校後援会と称する。

第2条 本会の事務所は三重県立桑名工業高等学校内に置く。

(目的)

第3条 本会は三重県立桑名工業高等学校の学校教育活動等の振興を後援することを目的とする。

(組織・役員学年委員会)

第4条 会員は本校のPTA会員の内保護者会員を正会員とし、本会の趣旨に賛同する特別会員を以て組織する。

第5条 役員は当該年度のPTA役員及び学年委員が兼務する。任期は1年とし、再選は妨げない。

第6条 本会は若干名の顧問を置き、会長が委嘱する。

第7条 役員学年委員会は随時開催する。

(運営資金)

第8条 本会の運営資金は、会費及び寄附金を以て充てる。

(会費)

第9条 正会員、特別会員は会費を納入するものとする。

第10条 会費については、会長が提案し役員学年委員会の承認を得なければならない。

特に必要と認めたときは臨時徴収をすることができる。

(総会・執行)

第11条 総会は毎年1回開催する。必要に応じて臨時総会を開くことができる。ただし、総会をPTA総会と兼ねることができる。総会に付議する事項は次のとおりとする。

1. 事業計画
2. 決算承認
3. 予算審議
4. 役員選出
5. 会則の改定
6. その他必要事項

第12条 会費の執行は、会の目的に従って行ない、その執行は学校長に委託する。学校長は有効・適切な運用を行い、総会に於いて収支決算書及び会計報告をするものとする。

(総会・役員学年委員会決定)

第13条 総ての議事は出席者の過半数の同意により決定する。

(会計年度)

第14条 会計年度は4月1日から翌年3月31日までとする。

付則 この会則は平成9年4月1日より実地する。

付則 (平成9年4月1日)

正会員の会費は年額12,000円、特別会員は2,000円以上とする。

付則 (平成10年4月1日)

正会員の会費を年額12,000円より年額10,000円に改定する。

付則 (平成13年4月1日)

正会員の会費を月額1,000円に改定する。

付則（令和2年4月1日）

正会員の会費を月額1,700円に改定する。

付則（令和5年4月1日）

名称を三重県立桑名工業高等学校学校後援会に改定する。

正会員の会費を月額1,200円に改定する。

付則（令和8年4月1日）

理事の名称を学年委員に改定する。

役員会・理事会の名称を役員学年委員会に改定する。

連絡事項

理事・役員役割分担 (①~⑥は理事・本部役員、⑦~⑩は本部役員の分担)

①~⑤については全保護者の皆様にご協力の案内をいたします。

① PTA 総会 5月9日(土) 桑名工業高校

- ・会長・副会長(本部役員)は議長の業務があります。(旧会長、新会長挨拶)
- ・会場の準備、受付等については学校側で行います。

② 挨拶運動 5月9日(土) 桑名工業高校(正門周辺・昇降口付近)

- ・下校時に挨拶運動を行います。

③ 学校環境デー 6月2日(火) 午前

- ・本校周辺地域の清掃活動を七和小学校6年生とともに行う予定です。

④ 体育祭 6月3日(水) 四日市ドーム

- ・PTA 会長挨拶があります。PTA 会長賞のプレゼンターもお願いします。

⑤ 秋の交通安全運動および挨拶運動 9月16日(水)~18日(金)

- ・朝の通学時間帯で、国道から本校に入る入り口付近と1年生駐輪場付近で行います。

⑥ 文化祭 10月22日(木) 午後準備・23日(金)当日

- ・準備日は、食材の購入・準備作業となります。(本部役員のみ)
- ・当日は「親の店」の運営(調理・販売など)です。
※文化祭に関してはPTA 理事の皆様「親の店」の運営にご協力をいただいています。

⑦ 三重県高等学校PTA 連合会 定期総会・研究協議会

定期総会: 6月6日(土) 13:30~ アストホール (会長(新・旧)・校長)

研究協議会: 6月6日(土) 17:00~ アストホーム (誰でも) 会費 4,000 円

⑧ 東海地区高等学校PTA 連合会 「愛知大会」

6月17日(水) 13:00~ 刈谷市民ホール (教頭1人・役員1人)※今年度も制限なし

⑨ 北勢地区高等学校PTA 連合会 理事会・研修会

理事会: 6月27日(土) 四日市 (校長(教頭)会長※1~2分取り組みを報告)

研修会: 6月27日(土) 四日市 (校長(教頭)・役員5人)

⑩ 全国高等学校PTA 連合会 「大分大会」

8月20日(木)・21日(金) 別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ 他

【様式】 令和 8年度 学校マネジメントシート

1 目指す姿

学校名 (桑名工業高等学校)

(1) 目指す学校の姿	○「地域と歩むものづくり」のキャッチフレーズのもとに、地域と連携したものづくりに取り組み、人間性豊かで、積極的に行動できる専門的職業人を育成する学校
(2) 育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	○ 「あいさつ・身だしなみ・きれいな学校」(桑名工業三原則)に加え、時間を守ることが徹底され、真摯に授業に取り組み、部活動、生徒会活動、資格検定試験などに生き活きと取り組む生徒 ○ 「地域と歩むものづくり」を目標に、本校独自のキャリア教育を通じ、自ら考え積極的に行動できる生徒 ○ 人間性豊かな専門的職業人を目指す生徒
(2) ありたい教職員の姿	○ 生徒の成長する姿を思い描き、その姿を実現するべく全力で生徒に指導する教職員 ・デュアルシステム等を通じ、教科指導とキャリア教育の充実に向けて、意欲的に取り組む ・失敗を恐れず常に前向きにチャレンジする姿勢を保ち続ける ・生徒が興味・関心を持てる授業を展開するよう、常に研究を怠らない ・資格取得指導・部活動の指導や教育相談にも積極的に取り組む ○ 情報共有を行ない、学校を目指す方向を職員全体が知り、同じベクトルで向かう

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p><生徒> 進路実現、充実した学校生活、資格取得</p> <p><保護者> 生徒の進路実現、基本的生活習慣の確立、資格取得、人間性豊かな人格の形成</p> <p><地域、地元企業等> 地域で活躍できる社会性を身につけた、人間性豊かな職業人の育成</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	<p>連携する相手からの要望・期待</p> <p><保護者、中学校関係者> 情報共有、連携、協働</p> <p><地域、地元企業等> 地域で活躍できる人材育成</p>	<p>連携する相手への要望・期待</p> <p><保護者、中学校関係者> 本校教育活動への理解、協力、情報共有</p> <p><地域、地元企業等> 本校教育活動への理解、協力、情報共有、指導</p>
(3) 前年度の学校関係者評価等	<p>○桑名工業3原則(あいさつ・身だしなみ・きれいな学校)に加え、時間を守ること・授業規律を守ることの指導を徹底してもらいたい。</p> <p>○第1希望の企業に就職できるように、基礎学力の定着や資格取得に加え、コミュニケーション力を高めてもらいたい。</p> <p>○「地域と歩むものづくり」に基づき、さらに企業や地域と連携した取り組みを行うことで、生徒の成長につなげてもらいたい。</p> <p>○保護者の学校教育への興味関心を引き、協力を得ることがより良い学校教育につながるので、HPの更新の際に質を向上させてもらいたい。</p> <p>○工業教育・安全教育を基本から徹底することが、社会へ出てから役に立つので、しっかり指導してもらいたい。</p> <p>○生徒の自立を促すためには、何の目的を持ってこの教育活動を行うのかを示し、理解させた上で取り組む必要がある。</p>	
(4) 現状と課題	教育活動	<p>○基礎学力が低下傾向にあり、基礎学力定着・向上に向けて授業規律の確保をしていきたい。</p> <p>○授業規律確保の取り組みを行うことで、授業に集中させ基礎学力の定着、身だしなみを整えさせることを徹底していきたい。</p> <p>○遅刻者数が高止まりしているので、時間を守ることを徹底していきたい。</p> <p>○コミュニケーション力向上へ向けて、学校教育活動全体を通じて取り組んでいきたい。</p>
	学校運営等	<p>○「地域と歩むものづくり」に基づいた企業や地域と連携した取り組みをさらに発展させていきたい。</p> <p>○1次就職試験の不合格者を出さないようコミュニケーション力向上に取り組む。</p> <p>○学校HPやすぐるを利用して保護者への情報発信や連絡を密にすることで、保護者との連携協力体制を強固にしていきたい。</p> <p>○桑名工業高校の魅力をさらに発信し、地域から入学したい学校になることを目指す。</p>

3 中長期的な重点目標

教育活動 【カリキュラム・ポリシー】	<ol style="list-style-type: none"> 1. 桑名工業三原則の堅持に加え、時間を守ることの徹底に努める。 2. 規律ある授業を行いつつ、基礎・基本を大切に魅力ある授業づくりに努める。 3. インターンシップ・デュアルシステムなどキャリア教育を推進し、生徒の主体的・対話的で深い学びを実現し、工業への見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行う。 4. 地域と連携したものづくりを行うことで、豊かな人間性を育み、生涯の見通しをもって創造的に探究できるよう学習活動の充実を図る。 5. 資格取得指導を充実させるとともに、基礎学力の定着と向上に努め、工業高校指導者の育成に努める。 6. グローバル人材育成のため、海外インターンシップに積極的に取り組む。
学校運営等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「情報共有と連携」をキーワードに意識統一を行い、チーム桑名工業で取り組む組織づくりを進める。 2. コンプライアンス研修を定期的実施し、コンプライアンス遵守を徹底する。 3. 部活動指導を複数顧問が交代で行うなど、総勤務時間の縮減に取り組む。

4 求める生徒像

入学時に期待される 生徒の姿 【アドミッション・ ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校における学修に必要な基礎学力を有していること。(知識・技能) ・基礎的な思考力・判断力・表現力を有していること。あるいは、それらを身につける意欲を有していること。(思考力・判断力・表現力) ・活気あふれる学校生活をめざし、部活動や生徒会活動、ボランティア活動または資格検定試験などに積極的に取り組む意欲を有していること。(主体性)
---	--

5 本年度の行動計画と評価指標

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例) 「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】 取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】 取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】 「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
魅力あふ	< 1 学年 > 基礎学力の定着を一番の目標として朝のSHRで学習を行う。また、教材研究や指導方法を工夫し、教員間で情報交換を行い授業力の向上を図ります。資格取得に関しても各系と連携を取り、チャレンジを促す。 【活動指標】 授業満足度調査のアンケート 【成果指標】 満足度80%以上 【活動指標】 基礎力診断テスト 【成果指標】 D2ランク以上の生徒が90%	年度末及び適宜記入	○
	< 2 学年 > 教員間のコミュニケーションの充実を図り、スムーズな組織運営ができるように努める。各学期終わりに授業アンケートを実施し、満足度が目標を超えられるように教科担当者に結果をフィードバックする。基礎学力定着と資格取得に向けて、朝のSHRの時間に小テスト等を行う。 【活動指標】 授業満足度調査のアンケート 【成果指標】 満足度80%以上 【活動指標】 基礎力診断テスト 【成果指標】 D2ランク以上の生徒が80%	年度末及び適宜記入	○
	< 3 学年 > 満足のできる進路実現に向け、基礎学力定着のために朝のSHRで学習に取り組む。また、資格取得を奨励する。 【活動指標】 基礎力診断テスト 【成果指標】 D2ランク以上の生徒が90% 【活動指標】 有用な資格取得を奨励する。 【成果指標】 履歴書の資格欄に資格を記入できる生徒の割合が100%	年度末及び適宜記入	○

<p><教務部> 公開授業、研究授業を年1回以上実施するとともに、授業振り返りシートを活用し、教員の授業スキルアップに努めます。また、規律ある授業展開を促進し、どの生徒も学びやすい雰囲気をつくり、基礎学力の向上につなげます。</p> <p><人権> 差別をなくし多様性を尊重できる社会を築く人材を育てるために、私たち教職員自身が差別について深く学び、自身の価値観をアップデートしていくことが不可欠です。そのため人権担当として学んだことを積極的に学校全体に共有し、発信していくことで、学校全体の人権意識の向上に努めます。</p> <p><図書> 利用者への資料提供(書籍購入、相互貸借)、「調べもの、探しもの」などの情報提供の補助といった基本的な図書館のレファレンス業務の推進、基礎分野や専門分野の書籍の充実、そして調べ学習に対応可能な図書館として配架、蔵書冊数の充実を図り利用者支援について一層励みます。 生徒や教職員に向けた情報資源の収集・活用方法の指導及び提案を行っていきます。 生徒が司書室へ入室する際に桑名工業三原則を徹底させ、基本的生活習慣の確立を目指します。</p>	<p style="text-align: center;">年度末及び適宜記入</p>	<p style="text-align: center;">○</p>
<p><進路指導> 【活動指標】 生徒が希望する進路実現のため、基礎学力の定着を図り、教員間で情報交換する中で社会人としての資質向上を図ります。 【成果指標】 桑名工業三原則のあいさつ、身だしなみ、きれいな学校を堅持し、社会において大切であることを理解させます。</p>	<p style="text-align: center;">年度末及び適宜記入</p>	<p style="text-align: center;">○</p>
<p><生徒指導>朝の登校指導において挨拶や服装指導を行い、遅刻者には理由の確認と根本的な原因の改善を促す。保護者への連絡と協力をお願いする。服装については全職員で指導する。日頃の学級活動や清掃指導を通じて学習するための環境づくりを徹底・推進する指導体制をつくる。 【活動指標】 遅刻統計を毎月公表する。月2回の遅刻であいさつ運動をする。 【成果指標】 体調不良以外の遅刻者数を30%減少させる。</p>	<p style="text-align: center;">年度末及び適宜記入</p>	<p style="text-align: center;">◎</p>
<p><保健安全部> ・保健室利用の際に挨拶や身だしなみの指導を行い、生徒一人ひとりの個性を尊重し、親切でこまやかな対応を心がけます。 ・清潔な保健室の維持に努め、生徒にも職員にも快適な室内環境を整備し、過ごしやすく働きやすい環境づくりを目指します。 【活動指標】 ・生徒をていねいに観察し、心身の早期回復を目指して適切な処置・対応を行います。 ・本校職員の健康維持のため必要な情報を提供し適切な支援を行います。</p>	<p style="text-align: center;">年度末及び適宜記入</p>	

魅力ある授業作り・基礎学力定着・三原則の堅持

<電気系>
・小さな「わかる」の積み重ねで人生が「かわる」を生徒に還元するために、
①授業の教材や指導法において教員間で情報交換および相互のスキルアップをはかり職員の授業力向上を目指します。
②電気系の資格取得を勧め、資格取得指導において情報共有をはかり職員の指導力向上を目指します。
③生徒に対し基礎基本を中心とした学習指導に力を入れるとともに、課題解決能力の育成を目指します。
・自立する18歳を目標に、将来困ったときに主体的に解決できるような考え方ができるように取り組みます。
・生徒、職員が一丸となって「きれいな学校づくり」をさらに推し進め、電気実習棟の整理整頓をすすめます。準備、あと片付け等の基本姿勢とともに、「あいさつや身だしなみ」など基本行動の習慣化に取り組みます。
【活動指標】
・学習内容が「わかる・できる」ことにより、生徒全員が授業に対する達成感（満足度）を得られるように努めます。
・電気系実習棟の実習室および廊下における美化を徹底します。
【成果指標】
・年度末における生徒の授業に対する満足度が80%以上になることを目指します。
・電気系実習棟の実習室および廊下において「ちり・ごみ」がなくきれいな状況となるよう取り組みます。

年度末及び適宜記入

<機械系>
・深い学びを体感できるように基礎基本を大切にし、分かりやすい授業を実践するとともに手法や技法について教員間で情報を共有することで、機械系教員全体の知識や技術の向上に努めます。
・桑名工業三原則および安全作業を徹底することで、工業そのものの見方・考え方や製造現場での活動を涵養し、より実践的な学習活動を行います。
【活動指標】
・基本的な知識の定着を図り、そのうえに専門的な知識を積み上げるよう系統的な授業展開をする。
・ICT等を有効に活用して視覚的な教材を提示し、より具体的に学習内容が理解できるように授業を展開します。
・実習前点呼や作業前の安全指導を徹底するとともに実習室の環境整備・整理・整頓に努めます。
【成果指標】
・授業や実習でのICT活用率と生徒の授業満足度が高水準（80%以上）を保つことを目指します。
・作業中の重大事故・災害ゼロを目指し、「安全で学びやすい」教育環境の実現を目指します。

年度末及び適宜記入

<1学年> ICTを活用したクラス運営と授業の展開、学年校務の効率化を実施します。生徒が進路実現に合致したコース選択ができるように支援します。
【活動指標】 G-suite for Educationを利用
【成果指標】 クラスルーム参加率100%
【活動指標】 コースガイダンス（2回）、系ガイダンス、実習見学会（2回）、コース選択面談（3回）を実施します。
【成果指標】 生徒のコース選択満足度100%。

年度末及び適宜記入

<p><2学年> 主体的・対話的で深い学びの中で、生徒が満足できる進路実現へ向けて情報発信等で支援します。 【活動指標】 進路シミュレーション活動、インターンシップ実習体験、進路ガイダンス、3年生進路体験報告会 【成果指標】 満足度100%</p>	<p>年度末及び適宜記入</p>	
<p><3学年> 進路選択に必要な知識を身につけるため、企業や学校研究に努め、職業理解を深める。 【活動指標】 進路シミュレーションを通じて生徒・保護者の希望に沿った進路決定を実現する。 【成果指標】 生徒・保護者との面談を経て希望の進路先への決定率100%</p>	<p>年度末及び適宜記入</p>	<p>○</p>
<p><教務部> 授業時間の確保や、キャリア教育に関するより深い探究ができるカリキュラムを編成します。 <教務部：図書> 生徒の進路選択の判断材料となる幅広い分野の資料収集、及び職業選択やインターンシップの参考となる資料の購入、地元企業の持つ技術力に関連する専門資料、資格試験に役立つ資料の充実を進めます。</p>	<p>年度末及び適宜記入</p>	
<p><情報> ・教科担当教員の授業におけるICT機器の活用率の向上、及び生徒購入iPadの使用率向上を図る。その為に、情報研修の充実と周知に努め、参加率100%を目指す。また、さらなるICT教育の充実を図るために環境整備・改善に努める。 ・近未来に向けた生徒の情報活用能力や主体性を持った考え方を育て、society5.0で実現する社会に対応出来る人材を育成できるよう最新情報を学校全体で共有する。 ・学校HPを月5回更新など広報活動に努め、本校受験者数確保に向け地域や中学生への情報発信を行う。</p>	<p>年度末及び適宜記入</p>	
<p><進路指導> 【活動指標】 キャリア教育を推進し正しい勤労観・職業観の育成を目指し、豊かな人間性を育み生涯の見通しを持たせる教育を実践します。また一人ひとりの社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる態度を育成します。 【成果指標】 ・3年生には就職試験および進学対策としての面接指導を複数回実施します。6月に業者に委託した模擬面接指導、9月に全職員対応の模擬面接指導を実施します。 ・2年生には12月以降に「進路決定シミュレーション」など進路決定に向けた対策を早期から実施し、生徒が自主的に進路を決定する機会を与えます。 ・1年生には入学後からコース選択の取組みにより、将来の進路実現を考えさせる機会を作ります。また、12月には職業適性検査を実施し個々の適性について学ぶ機会を設定します。 ・特別な支援が必要な生徒を早期に把握し、該当生徒に関係するすべての職員の協力と理解を得ながら、生徒自身が進路実現に必要なスキルや方策を身につけられるよう、個別の支援策を教育相談係と連携して行います。 ・各学年で複数回の進路講話や職業理解ガイダンス等を実施します。</p>	<p>年度末及び適宜記入</p>	

キャリア教育・資格・課題研究を含めた地域と連携したもの	<p><キャリア探究部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次は、桑名工業高校成果発表会やポスターセッションを通して地元や周辺企業の特色等を知ること、勤労感や職業意識の育成を行い、将来の進路選択についてのビジョンを考えさせます。 ・2年次は、インターンシップ等を通して、生徒自らが適正な職業感や、必要な資格や技術について考え、セルフマネジメントを行なうための大きな機会とします。また、デュアルシステム専攻生徒に関しては上記に加え、対人関係スキルなどの人間力の向上にも努めさせます。 ・3年次は、企業と連携した授業等を通して創造性や探究心を向上させるとともに、これまで実施してきたインターンシップや企業での実習等を通して身に付けた力を、進路実現に向けて大いに発揮させ、社会人になるにあたっての心構えを定着させます。 <p>【活動指標】</p> <p>インターンシップや企業での実習を充実させるため、事前指導を徹底し、実施する意義や身に付けてほしい力について生徒たちに十分に理解させ、その意欲を喚起させます。体験する希望職種に対応できる企業の開拓ならびに受け入れ態勢の調査のために、企業訪問や担当者との面談を複数回実施します。また、キャリア教育の充実に向けて、企業や大学そして地域と連携した授業等を実施していきます。</p> <p>【成果指標】</p> <p>インターンシップは地域産業やその特色を知り、働くことについて考える最初の一步となることから、指導の充実とアンケートによる理解度・満足度の高い数値を維持し、その結果を後の進路指導に活かします。成果発表会やポスターセッション、企業等と連携した授業等を通じて、思考力や表現力に加えて自己理解や他者理解などを向上させ、個々に応じた人格を形成できるようにします。また、企業アンケートについても、満足度を高い水準で維持するために、その結果を生徒にフィードバックし、自身に必要な知識等に気付き、それが定着できるようにします。</p>	年度末及び適宜記入	
	<p><保健安全></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健室への入退室の際、社会人として望ましいマナーが身につくように指導します。 ・生徒との対話を積極的におこない、社会人としての資質が向上するように指導します。 ・感染症について正確な情報を発信し、社会人として必要な感染予防の意識を高めるように指導します。 ・健康チェックを毎日確実にを行い、自他の健康の維持について高い意識を持たせ、集団の安全・安心を守る意識を育みます。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服装や言葉遣い、マナーや行動について正しくできるまで根気強く指導します。定着率100%を目指します。 	年度末及び適宜記入	

く り	<p><電気系></p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びが実現できる授業を目指して授業内容を工夫します。学年に応じた生徒の生きる力を育て、地域で活躍し地域に貢献できる人材の育成を目指します。 ・生徒一人ひとりが思考力・判断力・表現力を養い、課題を解決する力を身につけさせるとともに、自らの個性を伸ばし多様な生徒同士が協働して課題の解決に向かう授業を目指します。 ・資格は将来の仕事を考えるアイテムであることを認識させ、資格試験・検定試験の指導を充実させて合格率の向上を目指し、生徒に自信をつける取り組みをします。 <p>【活動指標】 クラス全員で受検する検定試験や国家資格試験において、合格率を高めるよう努めます。</p> <p>【成果指標】 1年生のクラス全員で受検するものにおいて、計算技術検定3級90%以上、危険物取扱者試験乙種第4類60%以上、第2種電気工事士60%以上の合格を目指します。上位学年は、それぞれのコースにおいての上位資格取得に挑戦する。上位資格のゴールとして、電気技術者コースは第3種電気主任技術者、情報技術者コースにおいては情報セキュリティマネジメントの合格を目指す。地域と連携する事業においては「いなべ市観光協会」と連携し、観光アプリ（高校生目線）を開発することにより地域で活躍・貢献できる人材育成に努めるとともに、生徒の学びを得ることに寄与していく。</p>	年度末及び適宜記入	◎														
キ ャ リ ア 教 育 ・ 資 格 ・ 課 題 研 究 を 含 め た 地 域 と 連 携 し た も の づ く り	<p><機械系></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や社会に貢献できる人材を育成するため、生徒一人ひとりが共同・協同・協働するために必要なさまざまな力を身につける授業や機会を提供することを目指します。 ・資格や検定試験に向けて補習を工夫し充実させることにより、合格率が伸び悩む試験の合格率向上を目指します。 <p>【活動指標】 ・工場見学や校外活動、機械系独自の取り組みにおいて、生徒が達成感を得られるように努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種資格取得や課題解決に向けて、教員間での情報共有や指導方法の改善を行うように努めます。 <p>【成果指標】</p> <table border="0"> <tr><td>危険物丙種</td><td>80%合格</td></tr> <tr><td>危険物乙種四類</td><td>50%合格</td></tr> <tr><td>情報技術検定3級</td><td>60%合格</td></tr> <tr><td>計算技術検定3級</td><td>80%合格</td></tr> <tr><td>各種3級技能士</td><td>100%合格</td></tr> <tr><td>機械製図検定</td><td>50%合格</td></tr> <tr><td>パソコン利用検定</td><td>70%合格</td></tr> </table>	危険物丙種	80%合格	危険物乙種四類	50%合格	情報技術検定3級	60%合格	計算技術検定3級	80%合格	各種3級技能士	100%合格	機械製図検定	50%合格	パソコン利用検定	70%合格	年度末及び適宜記入	◎
危険物丙種	80%合格																
危険物乙種四類	50%合格																
情報技術検定3級	60%合格																
計算技術検定3級	80%合格																
各種3級技能士	100%合格																
機械製図検定	50%合格																
パソコン利用検定	70%合格																
	<p><生徒指導>挨拶・身だしなみ・きれいな学校を維持し、時間を守る事について校内全域で学年・科を超えて指導をするために職員間の共通理解を図る。生徒自ら積極的にマナーや清潔な頭髪を含め身だしなみに気配りできるように声掛けをしていく。社会人として必要なマナーを身につけさせる。</p>	年度末及び適宜記入	◎														
改善課題																	

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例) 「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
情報共有と連携・教職員による生徒への指導の徹底	<p><1 学年> 学年団や関係部署との連携をはかり、日常のコミュニケーションの中で情報共有できるように心がけます。 担任だけでなく全職員にかかわってもらうようにします。</p>	年度末及び適宜記入	
	<p><2 学年> 各部署との連携をはかり、教職員間のコミュニケーションと情報共有を大切にします。指導が必要な生徒に対しては学年団を中心に、保護者の理解・協力を得ながら対応していきます。</p>	年度末及び適宜記入	
	<p><3 学年> 進路実現に向け保護者との連携を密に行う。 関係部署との連携を図り、情報共有や教職員間のコミュニケーションを大切にする。 面接指導では全職員の協力を得て、様々な視点から生徒の面接力向上を目指す。</p>	年度末及び適宜記入	
	<p><電気系> ・校内グループウェア、系会議を利用して情報共有・交換をすすめ、系内における問題点を全職員で共有し、協力して課題解決にあたります。 ・教員個々の特技と知識を活かし、これを皆で共有して教員と生徒のスキルアップを目指します。個々の持つ経験や知識を共有できる職場環境をつくり業務の効率化をはかります。 【活動指標】電気系職員の授業や資格指導に協働して取組み、教員相互間の連携に対する達成感を高めるよう努め、生徒のゴールは「自立する18歳」を最高目標となるべく職員間連携して取り組みます。 【成果指標】日常の業務を通して「気付いたこと」を職員間で共有し改善に取り組み修正し生徒に還元評価する。</p>	年度末及び適宜記入	
	<p><機械系> ・系会議やteamsなどを活用し、教員間の意見交換や情報共有を積極的に行い、話しやすい環境をつくり、課題解決に向けて実践しやすいように協力・協働に努めます。 ・各実習における生徒の安全確保に努めます。 【活動指標】 ・機械系教員が授業も含めた新たな取り組みを行い、その情報や結果そして課題についても共有します。 ・各実習で生徒情報を共有し、また工作機械の小さな不具合についても意見交換することで、事故・災害・問題行動の未然防止を図ります。ものづくりマイスターの先生方にも意見を求め、複数の目で安心安全の確保に努めます。 【成果指標】 ・系会議を含め情報共有や教員間連携の場を積極的に設け、今後の指導等の充実に繋げます。 ・年間を通して重大事故や災害ゼロを目指します。</p>	年度末及び適宜記入	

情報共有と連携・教職員による生徒への指導の徹底	<p><保健安全></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校医と連携し生徒の健康状態や健康上の課題、学校環境について情報交換を行い生徒や保護者にフィードバックします。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期当初に学校生活への順応が心配される生徒についてはできる限り保護者を交えて情報共有をおこない、家庭との連携を密にして確かな支援が行えるよう取り組みます。 ・生徒の健康に対する意識を高め必要な情報を提供するため定期的に保健だよりを発行します。また職員や生徒を対象に緊急時の対処法等について研修会を実施します。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回保健だよりを発行します。年に1回程度、職員対象に研修会を実施します。 	年度末及び適宜記入
	<p><生徒指導>生徒情報を共有しやすい環境にするため、生徒指導室の雰囲気作りに努める。問題行動や事故等が発生した場合は、情報を共有して、学年・系・分掌と連携して学校全体で指導できる体制作りに努める。</p>	年度末及び適宜記入
	<p><教務></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会等において、教科代表教員間の意見交換や情報共有を積極的に行い、学校全体で連携して生徒を指導できる体制を作る。 <p><人権></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育推進委員会を通じて各分掌、学年とも連携しながら、人権学習の内容や、生徒情報の共有を進め、生徒が主体的に、安心して学ぶことのできる環境を育む。 <p><図書></p> <p>図書館情報を掲載した図書館だよりの定期的な発行や図書館CMなどで情報を開示し、来館促進や読書活動推進に努める。</p>	年度末及び適宜記入
	<p><総務>保護者・地域住民・報道機関への資料提供</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の提供については透明性があり迅速な対応に努める。 ・本校の活動がより多くの報道機関に取り上げられるよう、すぐーる、Google classroomなどを活用し、保護者・地域住民への情報提供に努める。 	年度末及び適宜記入
コンプライアンス・総勤務時間	<p><学校全体></p> <p>設定した日の定時に退校できた教職員の割合・・・100%</p> <p>予定通り休養日を実施できた部活動の割合・・・100%</p> <p>放課後に開催して60分以内に終了した会議の割合・・・100%</p> <p>時間外在校等時間が年360時間を超える教職員数・・・0人</p> <p>時間外在校等時間が月45時間を超える教職員の延べ人数・・・0人</p> <p>1人当たりの月平均時間外労働・・・15時間以下</p> <p>1人当たりの年間休暇取得日数・・・17日以上</p>	年度末及び適宜記入

<p>の縮減</p>	<p>< 1 学年 > <ul style="list-style-type: none"> ・普段のコミュニケーションを活用して、担任会などの会議を最小限にします。 ・年休を取得しやすいように協力し合います。 ・コンプライアンス遵守を徹底し、信頼される教職員を目指します。 ・副担任とも連携を取りながらHR活動を行います。 </p>	<p>年度末及び適宜記入</p>	
	<p>< 2 学年 > <ul style="list-style-type: none"> ・普段から情報共有をしっかりと行い、学年会開催を最小限にします。 ・総勤務時間の縮減に向け、年次有給休暇等を取得しやすい環境を作ります。 ・副担任とも連携し、HR活動を分担して行います。 ・コンプライアンスについては、日頃から意識を高め声を掛け合えるような雰囲気を作ります。 </p>	<p>年度末及び適宜記入</p>	
	<p>< 3 学年 > <ul style="list-style-type: none"> ・進路決定の為の情報共有を密に実施します。クラスルームなどの掲示板を利用し最新の情報を提供できるように工夫する。 ・学年団内で連携を取り、学年・学級運営を円滑に実施することで、総勤務時間の縮減に取り組む。 ・コンプライアンスを遵守し、生徒との信頼関係を築く。 </p>	<p>年度末及び適宜記入</p>	
	<p>< 機械系 > 法令を遵守し、座学授業や実習方法・内容さらには機械系内における業務を効率化し、情報を積極的に共有することで、教員の負担を軽減し、勤務時間縮減や「休みやすい」「働きやすい」職場環境を目指します。 【活動指標】 機械系施設の環境整備、教材・資料の整理と共有、機械系業務を担当者だけに頼らず分散化し、協力・協働の実践に繋がります。 【成果指標】 機械系全教員の総勤務時間縮減 </p>	<p>年度末及び適宜記入</p>	

コン プラ イア ンス ・ 総 勤 務 時 間 の 縮 減	<p><電気系> 経験や知識を共有できる職場環境をつくり業務の効率化をはかります。そのことにより労力を軽減し、総勤務時間の縮減を目指します。 【活動指標】電気系職員が業務の効率化と勤務時間の縮減が実感できるよう互いに協力して取り組みます。 【評価指標】業務の効率化と勤務時間の縮減に対する電気系職員の達成度の向上を目指します。</p>	年度末及び適宜記入	
	<p><総務部> ・会議資料作成などの事務仕事や行事運営の実務等において、全員が協力する体制を作る。 ・職務の円滑な運営を実現するため、情報共有を密にする。データファイル等の所在を明確にし、業務のマニュアル化を進め、担当者不在でも仕事を継続して行えるようにする。</p>	年度末及び適宜記入	
	<p><保健安全部> ・保健安全部の分掌業務を公平に分担し特定の職員に負担が偏らないようにします。職員相互の信頼関係を密にし、互いに連携して業務を効率的に遂行します。 ・業務を計画的に行い事前の準備を周到にして時間に余裕を持った業務展開することで、過重労働が無いよう取り組みます。 【活動指標】 ・保健部職員の対話や情報共有を密にして連携協力して業務に取り組み、一人ひとりの総勤務時間を縮減します。</p>	年度末及び適宜記入	
	<p><教務部> 各系の業務を相互に連携・協力し、職務にかかる時間の削減をはかります。また、業務の円滑な運営およびコンプライアンスの遵守のために、教員間で情報共有を密にし、相互にコミュニケーションが取れる雰囲気づくりを目指します。 <教務部：図書> 個人情報管理を徹底し、図書館システムを利用することで、処理や業務をスムーズに行います。 部内での情報共有をはかりスムーズな図書館運営を目指します。</p>	年度末及び適宜記入	
	<p><生徒指導> ・仕事内容を精査、簡素化し部員減少にも柔軟に対応出来る体勢を整える。部の連絡はホワイトボードや普通の会話を利用し、部会の回数、時間を抑えます。 ・係分担を行い、特定教員に負担がかからないようにします。また、互いに抱えている仕事を理解し合い、協力し合える雰囲気を作ります。</p>	年度末及び適宜記入	

改善課題

年度末及び適宜記入

6 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	年度末及び適宜記入
---------------------	-----------

7 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	年度末及び適宜記入
学校運営についての改善策	年度末及び適宜記入